学校番号	４０８

平成 31 年度　情報科

教科	情報	科目	社会と情報	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	最新「社会と情報」新訂版　（実教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・実践的な学習を通して、コンピュータやネットワークについて学び、日常使っているコンピュータなどの機械に対して理解を深め、どのように使っていくべきなのかを学ぶ。
・ワークショップや演習などを通して、色々な人とコミュニケーションをとり、たくさんの考え方を学び、自分の考えをきっちりと持つ。

2　学習の到達目標

・情報社会における身のまわりの問題を解決するために、さまざまな権利などの思考を深め適切に対処することができる。
・情報機器や情報通信ネットワークを適切に活用し、情報を収集、処理、表現することができる。
・情報化が社会に及ぼす影響、情報を受信・発信するときの責任などを理解した上で、コミュニケーションをとることの大切さなどを学び、情報社会に積極的に参加する。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	・情報社会に関心をもち主体的に社会の情報化の進展に対応しようとしているか。 ・情報モラルや個人情報に対する責任について考え行動しようとしているか。 ・自らの情報活用を振り返り評価し改善しようとしているか。	・メディアリテラシーを身に付け情報を正しく取り扱う力があるか。 ・課題を発見し解決するために情報技術を適切に活用することができる力があるか。 ・目的や対象を明確にし、表現やデザインの工夫ができる力があるか。	・情報と情報技術を活用するための基礎・基本的な技能を身に付け、目的に応じて、情報および情報技術を適切に扱っているかどうか。	・情報及び情報技術を活用するための基礎的な知識を身に付けているか。 ・情報社会の進展とそれが社会に及ぼす影響、および情報に関する法律や制度、マナーの意義を理解し個人が果たす役割や責任についての理解があるか。
評価方法	学習状況の観察 学習ノートやプリントの記述 実習作品 レポート、発表 相互評価・自己評価 など	学習状況の観察 学習ノートやプリントの記述 定期考査の結果 レポート、発表 相互評価・自己評価 など	学習状況の観察 課題作品 実技テストの結果 など	学習状況の観察 学習ノートやプリントの記述 定期考査の結果 など
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	情報社会とわたしたち	○情報社会 ・情報社会と情報 ・情報社会の光と影 ○情報とメディア ・情報の特徴 ・メディアの特徴 ・メディアリテラシー ○情報モラルと社会のルール ・個人に関する情報の管理と保護 ・情報を扱う責任とモラル ・知的創作活動による知識の創出と社会での活用	○ ○ ○	○	○	○	a:情報社会に興味を持ち、学習に積極的に取り組もうとしている。 b:情報化の光と影について理解し、正しく判断できる。 c:情報の信頼性や信憑性について正しく判断し、メディアリテラシーを身に付け情報を取り扱う技能がある。 d:SNS などを利用する時、個人情報の保護の取り扱いについて理解できている。また、モラルについても正しく理解できている。	授業観察 学習ノート ワークシート 定期考査
1学期	情報機器とディジタル表現	○情報機器 ・情報機器の種類と特徴 ・コンピュータの基本構成 ・ソフトウェアの種類 ○デジタル表現 ・アナログとデジタル ・デジタル化の特徴 ・2進数、10 進数、16 進数の相互変換 ・文字、画像、音声のデジタル表現についての理解	○	○	○	○	a:情報機器の種類と特徴、インターフェースなどについて興味を持っている。 b:情報をデジタル化することの利点や問題点について考えることができる。 c:２進数、10 進数、16 進数を理解し相互変換ができる。 d:アナログとデジタルの概念とその相違を理解している。	授業観察 学習ノート 小テスト 定期考査
2学期	コミュニケーションとネットワーク	○コミュニケーション ・技術の進歩によるメディアの発達の歴史 ・電子メールなどを利用したコミュニケーションの留意点 ○ネットワーク ・ネットワークの特性 ・インターネットの仕組み ○情報セキュリティ ・様々な情報セキュリティ技術 ・情報セキュリティポリシー	○	○	○ ○	○	a:インターネットの仕組みやサービスに興味関心を持っている。 b:技術の進歩によるメリット・デメリットの両側面を考え判断できる。 c:目的に応じて、コミュニケーションツールやインターネットのサービスを利用することができる。 d:情報セキュリティの技術の知識がある。情報セキュリティポリシーの概要や意義について理解している。	授業観察 学習ノート 定期考査

2学期	情報社会と問題解決 表現と伝達	○情報システムと人間 ・身近な情報システム ・情報社会の課題 ○問題解決 ・問題解決の手順 ・問題解決の手法 ・問題解決の実践 ○プレゼンテーション ・プレゼンテーション実施の流れや留意点 ・プレゼンテーションの実施	○	 ○ ○	 ○ ○	○	a：社会における情報システムに興味・関心を持っている。 b：問題を明確化して解決への手順を示している。問題解決の手段の選択は適切である。 c：問題解決の手段を選択し、プランニングシートに沿ったプレゼンスライドを作成している。 d：サイバー犯罪などの情報社会の課題について理解している。	実習作品 授業観察 定期考査
3学期	表現と伝達	○表現の工夫 ・わかりやすい情報伝達 ○表計算ソフトの利用 ・データの入力 ・四則演算 ・データの抽出 ・関数 (SUM,AVERAGE,MAX,MIN COUNT,IF,RANK) ・グラフの作成	 ○	○ ○	 ○	 ○	a：表計算ソフトのデータ入力・グラフ作成・関数の利用に意欲的に取り組み、積極的に演習課題を行っている。 b：目的や対象を明確にして、表現やデザインの工夫を行っている。 c：表計算ソフトへのデータの入力・抽出ができ、関数を利用することができる。 d：条件に合わせて関数を選択して利用する知識がある。グラフの種類や機能についての知識を持ち、適切に利用できるか。	実技テスト 授業観察